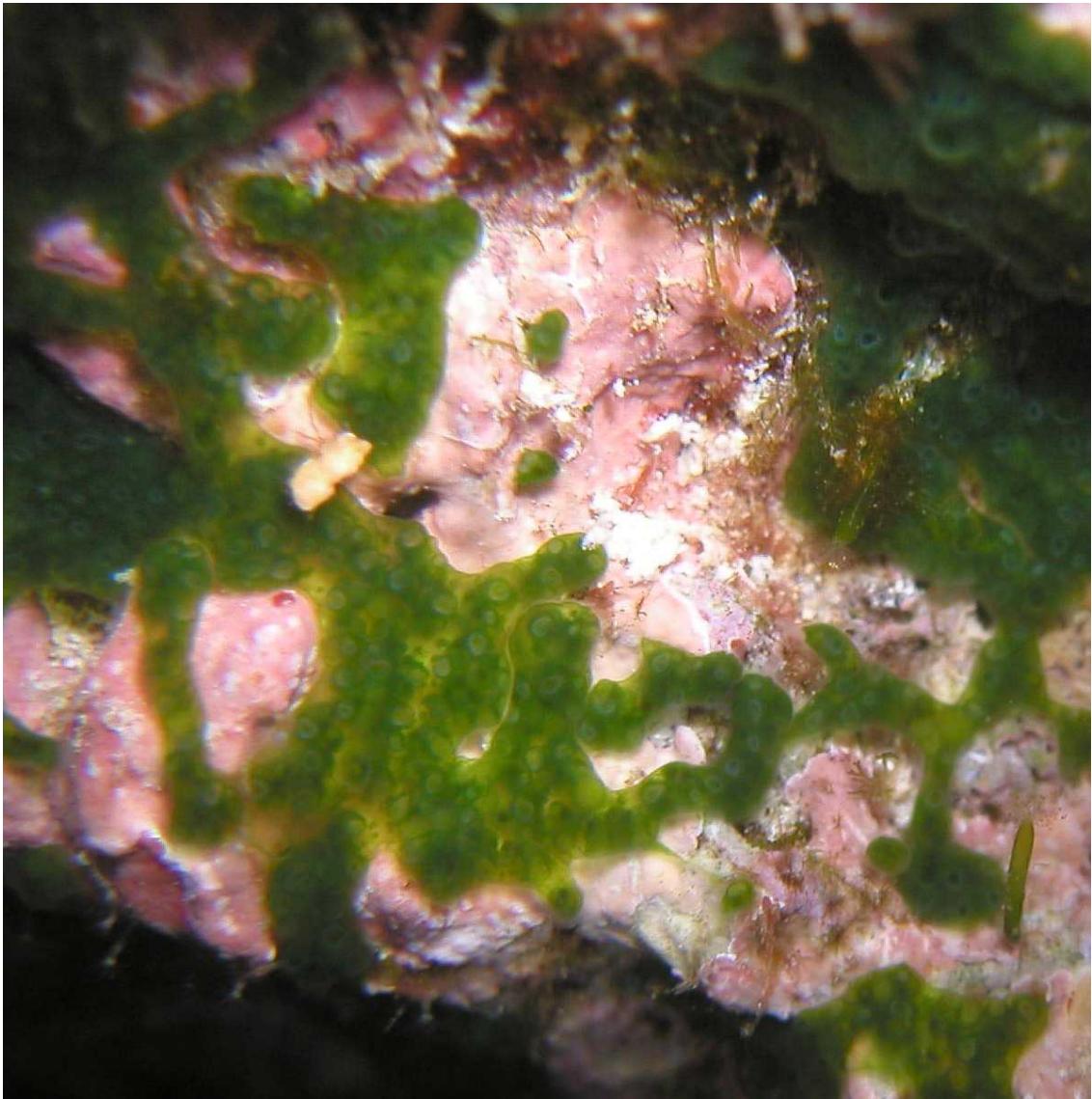


「光を食べるホヤの話」

広瀬 裕一

琉球大学理学部 海洋自然科学科

海の中ではさまざまな動物が「光を食べている」（藻類と共生することで太陽エネルギーを間接的に利用している）。生涯にわたって藻類との共生関係を維持する動物の中で、人類ともっとも近縁なのは群体性ホヤの仲間だ。宿主ホヤは主にプロクロロンとよばれるユニークな藍藻と共生し、親群体が幼生に共生藍藻を分与する仕組みまで進化させている。この共生ホヤは世界で 30 種くらいが知られているが、熱帯・亜熱帯にしか分布しないため、あまり研究されて来なかった。セミナーではホヤと藍藻の共生システムについて多様性、共生藻伝播の仕組み、共生ホヤの「生き方」、分布と環境問題などさまざまな話題を紹介する。



2005 年に沖縄島より新種記載された藻類共生性群体ホヤ *Diplosoma ooru*

熱帯に棲む奇妙な生物達の話です！ 多数来聴歓迎。 生体情報学 | 八田公平